さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

花粉症65％ 全国一の有病率

春本番のこの時季、花粉症に悩まされている人も多いのではないでしょうか。全国の疫学調査によると、山梨県は花粉症の有病率（かかっている人の割合）が最も高く、7割近くの人が花粉症なのだそうです。

2019年に全国の耳鼻咽喉科医師やその家族を対象に疫学調査が行われました。都道府県や年齢、症状別で花粉症の人の割合をまとめた内容で、同様の調査は1998年と2008年にも行われています。

2019年調査の結果をみると、山梨県の花粉症全体の有病率は66・5％、スギ花粉症の有病率は65・0％で、全国で最も高い地域となりました。過去2回の調査でも全国で最も高いという結果でした。

都道府県別のスギ花粉症の有病率に注目すると、山梨の次に高いのが栃木県の56・7％。埼玉県（56・1％）、京都府（49・2％）、長野県（48・6％）と続きます。一方、北海道は5・6％、沖縄県は8・6％と、地域差がかなり大きいことも分かりますね。

全体の傾向も見てみましょう。過去の調査結果と比べると、スギ花粉症の全国の有病率は1998年に16・2％だったのが、2008年は26・5％、2019年には38・8％と上がり続けています。スギ以外の花粉症の割合も10・9％（1998年）から25・1％（2019年）に上昇しています。

年齢別のデータに注目すると、スギ花粉症の有病率は、5～9歳が30・1％、10～19歳が49・5％。10代の有病率は世代別で最も高い割合です。鼻づまりや目のかゆみなどの症状が現れる花粉症。小中学生のうちからの対策が必要なようですね。

＝次回は4月28日に掲載します

都道府県別スギ花粉症の有病率（2019年調査）

	都道府県	有病率(%)
1	山梨県	65.0
2	栃木県	56.7
3	埼玉県	56.1
4	京都府	49.2
5	長野県	48.6
⋮		⋮
43	福岡県	24.4
44	熊本県	23.4
45	鹿児島県	18.3
46	沖縄県	8.6
47	北海道	5.6

（鼻アレルギー全国疫学調査2019より作成）

（2022 年 3 月 24 日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと 3 面）

問1 山梨県内でスギ花粉症にかかっている人の割合（有病率）はⒶ％で、全国の都道府県で最も高く、最低の北海道に比べⒷ倍以上。2位はⒸ県、3位はⒹ県です。Ⓐ～Ⓓに入る数字、県名は何ですか。

Ⓐ「　　％」　Ⓑ「　　倍以上」　Ⓒ「　　県」　Ⓓ「　　県」

問2 花粉症は、さまざまな植物によって引き起こります。スギ以外に原因となる植物を調べ、3種類挙げてください。

「　　」　「　　」　「　　」

問3 保育園児や小中学生など年齢が低いほど、スギ花粉症にかかりやすいというデータがあります。小学生のあなたは、どんな花粉症対策をしていますか。具体的に書いてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2022 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.